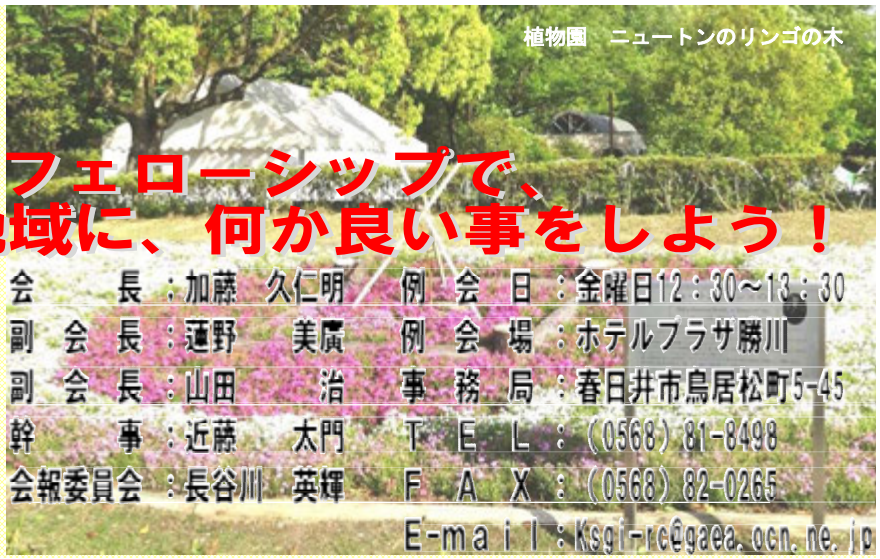
春日井ロータリークラブ
2014～2015 年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンのフェローシップで、世界・地域に、何か良い事をしよう！



会　　長：加藤　久仁明　　例 会 日：金曜日12：30～13：30
副 会 長：蓮野　　美廣　　例 会 場：ホテルプラサ勝川
副 会 長：山田　　治　　事 務 局：春日井市鳥居松町5-45
幹　　事：近藤　　太門　　T E L：（0568）81-8498
会報委員会：長谷川　英輝　　F A X：（0568）82-0265
E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

	司会	和田　了司君
・点　鐘		加藤久仁明君
・ROTARY SONG	「奉仕の理想」	
・今月の歌	「海」	
・ビジター紹介		加藤久仁明君
・食事・歓談		
・委員会報告		
・会長挨拶		加藤久仁明君
・卓　話	ガバナー補佐	加藤　令吉君
・幹事報告		近藤　太門君
・点　鐘		加藤久仁明君

今月の歌

海

松原遠く　消ゆるところ
白帆の影は　浮かぶ
干網浜に　高くして
かもめは低く　波に飛ぶ
見よ昼の海　見よ昼の海

先週の記録

2014年8月8日(金)2195回(8月第2例会)

会長挨拶　　会長　　加藤久仁明君

今月は、会員増強拡大月間です。先週の 7 月 25 日、2760 地区の会員増強委員会に出席し、当クラブの、昨年の会員拡大の報告をして参りました。昨年は、1 減 8 増での拡大で、それが出来た要因は、入会 3 年未満のメンバーを会員増強委員会に配属して『自分の友人の紹介をしても良いかと言うジレンマを払拭し、一人でも紹介する義務を与える事』での人事配置による成功であったとの報告をしてきました。今日も新入会員の入会式が有り、また、理事会で一人承認いたしました。今年も昨年に負けず会員拡大をして行きましょう

７月２０日愛知ロータリーE クラブの加盟認証伝達式が有りました。ロータリーE クラブとは、オンラインで例会を開くロータリークラブです。例会は、毎週１回、２４時間ホームページ上で開催します。会員は、ホームページを閲覧し、自分の意見や体験談を書き込む事により例会とします。E クラブの是非は RI の規定審議会で 2003 年、2007 年に 2 回否決されましたが、2010 年 6 月 30 日承認され、国際ロータリーの加盟クラブとなりました。

愛知ロータリーE クラブは、会員数 23 名で、国内 8 番目に認証されたクラブです。ちなみに、現在、日本には 11 クラブあり、世界では 200 以上のクラブがあるようです。このクラブの所属は、東尾張分区 11RC に配属され、東尾張分区は 12RC になりました。ちなみに以前からある、ワールド大阪ロータリーE クラブでは、メーキャップを年間 2,000 名受けているそうです。メーキャップ料が１人幾らかは解りませんが、結構な金額の収入になると思います。

メンバーの皆さん、「顔も会わせないで例会が成立するのか？」と言う意見が有る E クラブですが、是非論は別として、ロタリークラブの時代の変化が、確実に行われている事は、間違いないと思います。

幹事報告　　幹事　　近藤　太門君

第２回理事・役員会の審議内容
第１号議案：　７月分の一般会計の報告があり可決承認
第２号議案：　バッチ（名札）の新テザインへの変更　可決承認

会員増強及び拡大月間

例会予定	８月１５日（金）	８月２２日（金）	８月２９日（金）	９月５日（金）
	休会定款６－１	祝福 卓話風岡　保広君	ＩＤＭ　１８時～ 河文	理事役員会 11：30 クラブフォーラム

第３号議案：　小川茂徳の新加入を理事会として可決承認
以上の３議案をご審議をいただき、いずれも可決承認されました。
地区からの出席要請：
第１回地区広報雑誌委員会を９月 11 日（木）
15：00～、
名鉄グランドホテル 11Ｆで開催されます。出席義務者は地区委員の志水ひろみ君。
「春日井明るい社会づくりの会」の実践体験文の最終審査があります。９月 4 日（木）13：30 分～、市民活動支援センター、出席者は副会長の蓮野美廣君です。

◎例会変更の案内

名古屋清須ＲＣ	8月26日(火)　8月22日(金) ＩＤＭの為
名古屋城北ＲＣ	8月26日(火)　8月26日(火) 夜間例会の為

出席報告　　**委員長　伊藤　純君**

会員　57 名	欠席 12 名	出席率 78.6%
先々週の修正出席	欠席　1 名	出席率 98.2%

ニコボックス報告　　**委員長　古屋　義夫君**

○大橋君の入会を祝って　　加藤久仁明君
○ドームではお疲れ様でした　　近藤　太門君
○ご入会おめでとうございます　　芝田　貴之君
○入会させて頂き有難うございます大橋　省吾君
○今日も宜しくお願いします
足立　治夫君　青山　博徳君　磯野　俊雄君
小川　　長君　太田　弘道君　大畑　一久君
岡嶋　良樹君　亀谷　鉦一君　加藤　　茂君
風岡　保広君　河村　哲也君　加藤　宗生君
貴田　永克君　北　　健司君　小島　啓治君
志水ひろみ君　清水　　勲君　杤本　正樹君
宅間　秀順君　峠　テル子君　中島　宗幸君
名畑　　豊君　成瀬　浩康君　中川　　健君
野浪　正毅君　早川　八郎君　林　　憲正君
速水　敬志君　蓮野　美廣君　場々大刀雄君
古屋　義夫君　日比　雄将君　森田　　誠君
屋嘉比良夫君　山田　　治君　山田　倫章君
和田　了司君
○ご協力ありがとうございます。　　古屋　義夫

新入会員 RC バッジ贈呈

新入会員　大橋　省吾君　挨拶

歓迎挨拶　清水　勲君

名妓連　まい子さん　ひこ乃さん挨拶

あしなが奨学生からの手紙
＃９　Arias Michelle Rose
あしながおじさん　太田　弘道

また夏になり、学生が一番待ち焦がれる季節になりました。でも、私は彼らと違って、夏休みが嫌いなのです。日々余裕がなかったり、学校の大勢の仲間たちと会いたかったりというだけでなく、私はいつも家で独りぼっちでやることがないからです。友達とべったり一緒にいて、楽しい思い出をつくる、またたくさん学ぶことができる授業がある学校にいるときと違うのです。ところで、私は友達を抱え込んではいません。ただ、私の近くにいるだけで幸せなのです。ただいつも楽しい気分で、明るい表情でいたいだけです。以前は、こんな風ではありませんでした。それは私に親友がいなかったからか、むしろ家族を除く人々を私が嫌っていたから、本当に友達がいなかったというべきかもしれません。私は以前、周りの人がいなくたって生きていけると考えていたのです。けれども今友達と出会い、ああ私は彼女らなしではとても生きていけません。かれらは親友です。私が秘密を共有できる友達、そんな友達が必要なのです。本当に、とっても彼女たちに会いたい。でも、夏は私たちの友情を壊すような障害物ではないし、決してそうなりません。私たちは多くの手段でコミュニケーションすることができます、特にSNS（ソーシャルネットワーク）を通して。一生会えないわけでなく、たった１か月だけですから、何も心配ありません。たとえ夏がとてもリラックスできるとしても、私はずっと夏休みなんてなければいいと願っています。とはいいながら、夏が好きなこともあります。私の敵、学校の偽の友達を見なくても済むし、学校の課題や宿題やクイズ等の頭の痛いことから解放されますから。
私の愛しい人を思い出させる心の痛みや苦しみを、もう殆ど忘れているし「そこに行けば、よいことがある」という言葉を私は信じているので、希望

を失わないし、今それが起こっているの。
私は「彼」をベタ惚れすることはないだろうとわかっていますが、私の単純な生活に大きな役割を果たしています。彼は最高の友達です。彼もアルセロ小学校で勉強していて、学校の年度が終わろうとする今年の２月４日に知り合いました。私の女友達が、彼を私に紹介してくれました。そして今は、より強い絆で結ばれ、ずっと一緒にいたいと思います。わぁ！この話はここまでにしましょう。勝手に舞い上がっています。夏の話題にもどりましょう。
夏は最も独りぼっちな日々をもたらします。何もすることがない。ただ時間を持て余し、携帯を手に誰かがメールかテレビ電話をくれるか、SNS を更新するのを待っているだけ、うーん・・・・。こんな風に、時間を無意味に費やすのは嫌いです。退屈なの。自分自身で何がしたいか探しましたが、そしてそれは学校にしかないとわかってしまいました。学校へ戻りたいです。大勢の人の前で、自己紹介をするととっても興奮します。友達としゃべったりわらったりしていると、殆ど死にそうなくらい笑うときもあるのですが、一人は理解できていなくてキョトンってしているの。しっかり目に焼き付いてはなれません。この事のように、誤解は避けられないけれど、止まらないおしゃべりな口が、議論を止めてくれないのです。問題はいつもあって、それに私たちも気づいています。全ての議論を、私たちはまだ簡単に解決できるということを神様に感謝しています。
友達？夏よりも前は、私には必要ありませんでした。でも、いまは私の人生を完成させてくれる人です。
繰り返しますが、以前はこんな風ではありませんでした。私は夏を嫌っていなかったし、それどころか本当に家族とずっと一緒にいられて本当に好きだったのです。でも今はもう違います。
正直にいうと、私は本当にこうした日々が恋しいです。なぜなら、家族は今私に十分な時間を作ってくれないからです。それが、家族の不在をわすれるために、私が友達を必要としている理由なのです。
過ぎ去った日々は全てを変え、世界に永遠に変わらないものはないというのは真実です。
ただ、過去の思い出を大切に、当時に帰れたらなと願うのみです。
本当にありがとうございました！

#11　Jenny L. Estoconing
あしながおじさん　峠テル子

おじさんこんにちは、わたしはジェニーL エストコニングです。アルセロ記念国立学校で学んでいます。
まず最初に、私を奨学生の一人にしていただいたことに、お礼をもう一度言いたいです。私とそして私の家族にとっても、本当に大きな助けになりました。一生懸命勉強して勉強を修了することを誓います。
私の夏休みについてお伝えしたいと思います。私の凄い冒険についてお話しする前に、最初はウィークデイに一週間繰り返される日々の決まりきったことについてお伝えします。

朝４時～　この時間に朝食を作るために起床
　５時～　　朝食
　６時～　　家と周囲の掃除、皿洗い
　７時～　　テレビで日本やアメリカの
　　アニメ番組を見る
　９時～　　昼食の準備
　10 時～　昼食
　11 時～　昼寝
午後３時～　夕食の準備
　４時～　家と周囲の掃除
　５時～　夕食
　６時～　パソコンのオンライゲームをする
　７時～　テレビで映画を見る
　８時～　就寝（朝４時まで）

そして凄い冒険、それはカトマンのビーチリゾートで泳いでいることです。でもごめんなさい、リゾート地の名前を本当に忘れてしまいました。でもおじさんがそこに行けば、きっと楽しめるとおもいますよ。

ジェニーより

情を深めて行くかを共に考えて参りたいと存じます。
さて、話は変わりますが、私の出身地瀬戸は皆様ご承知のようにやきものの街です。それもとてつもなく長い歴史を持ち、あらゆる種類のやきものを誕生させてきました。古くは縄文・弥生の時代の物も発掘されていますが、実際に瀬戸のやきものの本来の存在を示した時代は中世、鎌倉・南北朝・室町の各時代です。平安時代に近畿から名古屋、猿投を経て、平安末期に瀬戸でいわゆる「瀬戸窯」というものが成立しました。おそらく大量に埋蔵されている粘土や高カロリーの雑木が燃料に相応しく陶器の生産地として条件が良かったのでしょう。ここでは仏教での交流を下に、入って来た中国の陶器をお手本としたやきものが盛んに造られました。これらのやきものは日本各地で中国のやきものを手に入れる事のできる貴族や豪族等いわゆる裕福な人々がこぞって買い求めたといわれています。つまり中国製品のコピーといえども高級陶器として流通していた訳です。６月まで瀬戸市美術館で開催されていた「古瀬戸の全貌－瀬戸焼の黎明と発展－」の展覧会に非常に素晴らしい展示がされていました。これは 2005 年の愛知万博を記念して当時の愛知県陶磁資料館（現在は愛知県陶磁美術館）で企画もされた事ですが、お手本になった中国のやきものと瀬戸で生産されたやきものが並列されました。これは大変素晴しく見る事ができました。それも中国で 13 世紀に造られたものを瀬戸では 14 世紀に生産していました。100 年の年月を経ての生産です。この間、何があったか定かではありませんが、とにかく夥しい数のやきものが生産され日本中に分布しました。北は北海道余市、南は宮崎県都城。余談ですが北限のウィスキーの生産地、南限の焼酎の生産地と、共にお酒を造る地というのは何か奇妙な縁を感じます。生産されたやきものは寺道具としても大きく使われ、仏前に使うのみならず、骨壺としても多く使われました。発掘調査では東北から中国地方まで多くの墓地の跡から人骨の入った瀬戸製の壺が発見されています。そんな中世の時代が過ぎ、安土桃山時代になると陶芸の中心は尾張の瀬戸からお隣の美濃へ移ります。この地は戦国武将でありながら茶人でもあった織部（古田織部重然）の指導による織部好みの茶道具が多く造られました。時に京の都では利休の好むシンプルな黒楽等の茶碗が主流でしたが、織部は純に歪みを美と捉えて不定形の茶碗を多く造らせ茶碗の器面に大胆な絵付けをするなど奇抜なやきものを多く世に出し、京の茶人達を驚かせその作は飛ぶように売れたといいます。そんな頃、利休も美濃の地を訪れ自らもやや歪みを持たせた瀬戸黒の茶碗を造らせています。それは少なからず利休も弟子の織部の作風を認めていたのでしょう。そんな栄光の安土桃山時代の織部の時代は長く続きませんでした。徳川家康の戦術を漏らした事を理由に織部は自害を命じられたと同時に織部の窯場は全て破壊されてしまうのです。その後、江戸時代の中期に瀬戸では織部焼をまねたいわゆる復興織部の時代がやってきます。どうやら現在良くいわれている「瀬戸焼」というのはこの時代のやきものの印象が深く、日本各地で「せともの」といわれるはじまりと思われます。しかし私の自論は瀬戸のやきものの原点は中世、鎌倉時代の物だと確信しています。何でもそうでが、原点を知り、原点を大切にする。それが人の成長するための基本だと思います。ここにお集まりのロータリアンの皆様、原点を大切にしてお互いに素晴しいロータリーライフを過ごしましょう。
本日はご清聴有難うございました。

第２回クラブ協議会（ガバナー補佐訪問）議事録

日時：２６年８月８日（金）１３：３０～
場所：ホテルプラザ勝川
出席者：加藤　令吉　ガバナー補佐
　　松本　哲也　分区副幹事
　　馬場　將嘉　地区副幹事
司会　　近藤　太門　幹事

〇会長挨拶　　加藤久仁明　　会長

組織図を変えた影響で、例年と各委員会の説明の順番が変更となっているのでよろしくお願いしたい。

〇ガバナー補佐挨拶

加藤久仁明会長は私の中学高校の後輩、青年会議所でも後輩であり、言い辛い立場ですが、きちんと役割を果たしたい。クラブ協議会が形骸化するとクラブの活性化に繋がらないので、忌憚のない意見をいただき、我々もわかる範囲でご意見申し上げたい。

＜事業計画報告＞

〇クラブ奉仕委員会　太田　弘道君

今年度は会長の方針により、親睦活動・出席・ニコボックス・雑誌資料の委員会に決定。各委員会と連携をとり、近藤ガバナー方針と会長方針に合うよう連絡を取りながらすすめる。親睦は計画が早く進んでいる。

〇親睦活動委員会　成瀬　浩康君

7 月野球観戦家族会、8 月末には初めての夫婦同伴 IDM、来月の観劇家族会と順調に計画・実行している。観劇はメンバーがまだ十分に集まっていない。また 10 月末に親睦ゴルフを予定している。

〇出席委員会　伊藤　純君

インターネットのメーキャップにより、修正出席率の大幅アップを狙う。長期にわたり休んでいる会員のフォローを適切に行い、退会とならないように気を付けたい。

〇ニコボックス委員会　古屋　義夫君

会員皆さまのご意志で、気持ちよくご寄附を頂くという方針。今年度の重点目標に沿って活動を楽しみながらフェローシップを高める。本日の加藤ガバナー補佐はじめ皆さまからの多額の寄付に感謝。

〇プログラム委員会　宅間　秀順君

本日の加藤ガバナー補佐の爽快な卓話に感謝。卓話をして欲しい人のリクエストを早目に頂きたい。基本的に２ヶ月先までの予定を組んでいる。

〇雑誌・資料委員会　河村　哲也君

会員増強委員会ともタイアップして、新入会員勧誘や面談時に「ロータリーの友」を活用している。今後も新入会員へしっかりと紹介していきたい。

〇ＳＡＡ委員会　名畑　豊君

例会の進行が上手くいっているかをチェックしているが、委員が昨年より増えているため良くなっているのではないかと感じている。例会の運営は昨年までと変更ない。

〇会場委員会　和田　了司君

会長から課された４つの課題に取り組んでいる。市民向けのサボテン福祉の集い、ニュートンのリンゴ木での例会を幹事とプログラム委員が企画している。会場委員会メンバーでの新入会員歓迎会を今月実施。

〇クラブ会報委員会　　長谷川　英輝君

〇広報・ＩＴ委員会　　長谷川　英輝君

毎週１回６人のメンバーが事務所に集まり会報作成している。新入会員を中心に手厚く配置され親睦を深めている。本日も議事録や写真係でこの協議会に参加している。

〇会員増強委員会　風岡　保広君

増強目標は純増７名で、率でいえば２０％近い増という高いもの。一方で今日のガバナー補佐の卓話にもあったように、春日井ロータリー研究会では「会員は増やさなくても良い」という長老の意見も多い。私は敢えてもっと増やすべく最強のメンバーを組み、既に２名増員して歓迎会も企画している。どう取り組むべきか、ガバナー補佐のご意見を頂戴したい。

〇職業分類員会　代理　加藤茂君

クラブ計画書に記載の通り３つの方針で進める。

〇会員選考委員会　加藤　茂君

安倍改造内閣も女性閣僚を増やすという噂。これに先んじて、女性を優先的に選考していきたい。

〇ロータリー情報委員会　清水　勲君

新入会員に「ロータリーの友」やその他情報を流すだけでなく、春日井ＲＣの定款やＲＩの手続要覧を説明・解説し、少しでも同化できるよう努めるのが役割であると認識している。

〇職業奉仕委員会　大畑　一久君

日頃安心して暮らせるのは、警察官・消防員・自衛官の皆さんのお蔭であるという感謝の気持ちから毎年表彰。職場見学例会を現在検討中。今月末の地区の職業奉仕委員会に出席し「職業奉仕とは何か」について報告したい。

〇社会奉仕委員会　伊藤　一裕君

11 月のニュートンのリンゴの木継続事業にて、小学生向けに万有引力と重力の違いのわかる装置の作成を進める。名古屋市科学館にあるものは予算上厳しいため色々と勉強している所。また青少年奉仕委員会とサボテン事業を行う。

〇環境保全委員会　峠　テル子君

春日井ＲＣが誇る 25 年の歴史のあるロータリーの森にニュートンのリンゴの木も５年後に移植される。しかし、現在ロータリーの森造成中の豊橋、豊川などのクラブの喜びや熱意と比較すると、春日井もさらに会員の関心を高め、有効利用すべきと感じる。そのためにも、プログラム委員会と連携して秋に開くロータリーの森例会を盛り上げたい。

〇青少年奉仕委員会　中川　健君

インターアクトクラブ、ガールスカウトをクラブ事業に参加させる。11 月にはインターアクトクラブの例会参加、福祉のつどいでのサボテン事業への参加を予定している。

〇国際奉仕委員会　加藤　宗生君

セブ島の女子中学生へのあしなが事業を継続実施。11 月に現地で次回奨学生の募集、選考を行う。

〇米山記念奨学委員会

　特記事項なし

〇ロータリー財団委員会　社本　太郎君

ここ数年の会員増、会費単価増で財団の財政状況は以前に比較してずいぶん余裕があると感じる。財団に関する疑問は本日の卓話で解消した。ポリオ撲滅に関しても、その他の疾病にも目を向けることも検討すべきというガバナー補佐の卓話で納得できた。

〇監査委員会　磯野　俊雄君

クラブ計画書の通り実施

＜ガバナー補佐質問・感想＞

〇クラブ奉仕委員会

会長方針や委員長の活動内容をチェックする役割。親睦委員会もわかりやすく年間行事計画されており良いと思う。

〇親睦委員会

観劇はチケットを押さえる関係で、会員の参加協力が不可欠。劇団四季のよさを、誰か芝居好きや東海テレビの担当者から卓話で話させると、参加意欲が増すのではないか。瀬戸も夫婦同伴例会を開催するが、名称は処々配慮して「配偶者」としている。年３回の親睦ゴルフは素晴らしい。

〇出席委員会

例会出席率をあげるためのインターネットというのは、ロータリーの精神とは裏腹な面があり難しい。瀬戸クラブは無理矢の 100％出席は止めた。当該例会の出席率を伝統的に守る必要がある一方、改革も必要であることから、機会があれば議論いただきたい。

〇ニコボックス